

2021年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 第4四半期の計測事業の受注を196億円に押し上げた要因は何か？

A1: 5Gの開発需要とデータセンター関連の需要が主な要因です。

Q2: 計測事業の2020年度の売上高が公表値（780億円）に届かなかった理由は何か？

A2: 日本市場での売上が1月時点の見通しを下回ったためです。新型コロナウイルスの状況悪化により顧客の投資が慎重になったことが要因と考えています。

Q3: 2021年度の計測事業の売上計画を達成するドライバは何か？

A3: 5Gサービスのエリア拡大や利活用分野への進展により、今後も5G関連の開発需要が拡大していくことが見込まれます。また、データセンター等でのネットワークインフラの拡充に向けた需要も拡大が見込まれます。

Q4: GLP2023での開発投資計画について教えて欲しい。また、2023年度の営業利益率の目標23%についての見解を聞かせて欲しい。

A4: GLP2023でのR&D費の投資計画は売上の12~14%で立てており、これはGLP2020の方針を踏襲しています。一方、GLP2020の計測事業における営業利益率の目標は20%でしたが、GLP2023では原価率の改善や営業効率を上げることで、23%の新目標を達成できると考えています。

Q5: 2019年度のグローバルでの女性幹部職比率が10.4%*だったようだが、GLPで掲げる女性幹部職比率の目標（15%）はグローバルでの達成を考えているのか？

*2020年度では10.8%

A5: 当社は、売上の約7割を海外で上げており、従業員も半数近くを海外で占めているため、女性幹部職比率の目標もグローバルで考えていますが、日本での女性幹部職比率の向上も重要な経営課題として改善に向けた取組を進めています。